



平成30年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社スタジオアリス
 コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 廣明

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 中井 俊宏

TEL 06-6343-2600

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	24,985	1.6	725	29.4	726	29.4	31	
28年12月期第3四半期	24,584	3.1	1,027	104.3	1,028	102.7	219	

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 42百万円 (81.0%) 28年12月期第3四半期 223百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	1.83	
28年12月期第3四半期	12.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第3四半期	31,485	21,294	64.7	1,198.55
28年12月期	30,484	22,095	69.6	1,249.73

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 20,356百万円 28年12月期 21,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		50.00	50.00
30年2月期		0.00			
30年2月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,100		3,800		3,810		1,820		107.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1. 平成30年2月期は決算期変更により14ヶ月決算となっておりますので、対前期増減率は記載しておりません。

2. 第4四半期(累計)の連結業績につきましては、売上高40,200百万円(前年同期比103.8%)、営業利益5,170百万円(前年同期比94.8%)、経常利益5,175百万円(前年同期比94.5%)、親会社株主に帰属する当期純利益2,880百万円(前年同期比95.5%)を見込んでおります。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期3Q	17,185,650 株	28年12月期	17,185,650 株
期末自己株式数	30年2月期3Q	201,418 株	28年12月期	201,318 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期3Q	16,984,305 株	28年12月期3Q	16,984,341 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による景気対策を背景に、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られるなど、緩やかな回復基調で推移しておりますが、海外経済の不確実性や地政学的リスクの高まり等により、先行き不透明な状態が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、主力である写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みを行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は24,985百万円（前年同期比1.6%の増加）、営業利益は725百万円（前年同期比29.4%の減少）、経常利益は726百万円（前年同期比29.4%の減少）、親会社株主に帰属する四半期純損失は31百万円（前年同期は219百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、昨年同様、「早撮り七五三キャンペーン」および「七五三お出かけ着物レンタル予約」施策の実施により撮影件数の増加を図りました。また、10歳のお子様を対象とした「1/2（二分の一）成人式キャンペーン」や「敬老の日・孫の日キャンペーン」等を実施し、更なる撮影件数の獲得に努めました。

そのほか、新業態店舗である「スタジオアリスHALULU（ハルル）」や「スタジオアリスBaby」を出店するなどし、今後の更なる成長に向けた事業展開も行っております。

国内子ども写真館の出店状況は、移転6店舗を含み20店舗出店、退店7店舗を行い、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を13店舗実施いたしました。そのほか、ペット写真館1店舗を退店いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、国内子ども写真館510店舗（直営店舗500店・フランチャイズ店舗10店）、アミューズメント写真館1店舗、韓国の子会社における子ども写真館3店舗を含め、514店舗となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は24,948百万円（前年同期比1.6%の増加）、セグメント利益は944百万円（前年同期比12.9%の減少）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、当社向け衣装生産コストの更なる低減を図るとともに、成人振袖レンタル事業の売上規模拡大を図るべく、常設店舗での展示予約会、並びに、その店舗を起点とした各地の商業施設等での期間限定展示予約会を引き続き実施いたしました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は1,186百万円（前年同期比9.8%の減少）、セグメント利益は27百万円（前年同期比87.3%の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ1,000百万円増加し31,485百万円となりました。

流動資産は、法人税等及び配当金の支払いに伴う現金及び預金の減少及び受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末と比べ278百万円増加の13,470百万円となりました。

固定資産は、新規出店及び移転・改装等による有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末と比べ721百万円増加の18,015百万円となりました。

② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,801百万円増加し10,190百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加及び法人税等の支払いによる未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比べ1,395百万円増加の6,819百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加及び固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ405百万円増加の3,371百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ800百万円減少し21,294百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失及び前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、平成29年2月10日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,702,052	7,899,920
受取手形及び売掛金	959,431	1,191,995
たな卸資産	1,359,381	1,523,570
その他	2,209,603	2,889,622
貸倒引当金	△39,000	△35,020
流動資産合計	13,191,468	13,470,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,369,720	8,586,037
その他(純額)	3,450,617	4,041,301
有形固定資産合計	11,820,337	12,627,339
無形固定資産	1,281,172	1,172,216
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,342,738	3,343,610
その他	1,082,638	1,094,502
貸倒引当金	△233,435	△222,535
投資その他の資産合計	4,191,940	4,215,577
固定資産合計	17,293,451	18,015,133
資産合計	30,484,919	31,485,221
負債の部		
流動負債		
買掛金	300,114	296,085
短期借入金	—	1,500,000
未払法人税等	1,130,051	1,410
賞与引当金	80,200	351,019
その他	3,913,754	4,670,891
流動負債合計	5,424,120	6,819,406
固定負債		
退職給付に係る負債	888,906	960,639
資産除去債務	1,289,883	1,338,881
その他	786,664	1,071,907
固定負債合計	2,965,453	3,371,428
負債合計	8,389,574	10,190,835

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	17,455,687	16,581,572
自己株式	△275,722	△275,983
株主資本合計	21,121,363	20,246,988
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	104,523	109,509
その他の包括利益累計額合計	104,523	109,509
非支配株主持分	869,457	937,888
純資産合計	22,095,345	21,294,386
負債純資産合計	30,484,919	31,485,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	※ 24,584,652	※ 24,985,490
売上原価	18,817,454	18,965,654
売上総利益	5,767,197	6,019,835
販売費及び一般管理費	4,740,047	5,294,678
営業利益	1,027,149	725,157
営業外収益		
受取利息	1,854	1,481
受取家賃	19,914	20,332
受取補償金	13,669	—
雑収入	16,408	17,238
営業外収益合計	51,846	39,052
営業外費用		
支払利息	5,170	5,085
店舗解約損	4,122	29,265
貸倒引当金繰入額	13,000	—
為替差損	25,058	606
雑損失	3,408	2,873
営業外費用合計	50,760	37,829
経常利益	1,028,236	726,380
特別利益		
固定資産売却益	4,252	—
特別利益合計	4,252	—
特別損失		
固定資産廃棄損	93,842	164,344
減損損失	125,015	215,093
特別損失合計	218,857	379,437
税金等調整前四半期純利益	813,631	346,942
法人税、住民税及び事業税	519,208	410,904
法人税等調整額	4,317	△101,375
法人税等合計	523,526	309,529
四半期純利益	290,105	37,413
非支配株主に帰属する四半期純利益	71,013	68,431
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	219,092	△31,017

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	290,105	37,413
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△66,503	4,985
その他の包括利益合計	△66,503	4,985
四半期包括利益	223,601	42,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152,588	△26,032
非支配株主に係る四半期包括利益	71,013	68,431

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が6,120千円、利益剰余金が6,120千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,552,695	31,956	24,584,652	—	24,584,652
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,753	1,283,332	1,297,085	△1,297,085	—
計	24,566,448	1,315,288	25,881,737	△1,297,085	24,584,652
セグメント利益	1,084,042	218,044	1,302,087	△274,937	1,027,149

(注) 1. セグメント利益調整額△274,937千円には、固定資産の調整額等△122,209千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△152,728千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては125,015千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成29年1月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,932,026	53,464	24,985,490	—	24,985,490
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,718	1,132,937	1,149,656	△1,149,656	—
計	24,948,745	1,186,401	26,135,146	△1,149,656	24,985,490
セグメント利益	944,130	27,637	971,767	△246,609	725,157

(注) 1. セグメント利益調整額△246,609千円には、固定資産の調整額等△84,143千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△162,466千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗及びソフトウェアの減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては215,093千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。